

平成 28 年度  
事業報告書

島根県西部視聴覚障害者情報センター

平成 29 年 3 月 31 日 現在

## 1 施設名称

島根県西部視聴覚障害者情報センター（開設 平成 12 年 4 月 1 日）

## 2 所在地

浜田市野原町 1826-1

## 3 事業計画の達成状況

### 『利用者の拡大』

実行計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・各市町の福祉窓口にセンターのパンフレットや利用案内（墨字・点字・録音）、広報用チラシを送付し、身体障害者手帳の申請時等にセンターの紹介と適切な資料の配布を依頼する。</li><li>・県の広報媒体を使ってセンターの業務内容の周知を図るよう依頼する。</li><li>・各市町、各市町社会福祉協議会の広報紙及びホームページにセンターの紹介記事を掲載するよう依頼する。</li><li>・国や県の機関、公共施設、社会福祉施設、眼科医等を訪問し、来訪者へセンターの広報用チラシを配布するよう依頼する。</li><li>・センターが参加するイベントで広報用チラシを配布する。</li><li>・センターのホームページで施設情報を発信する。</li><li>・新たな手話動画を制作し、ホームページに掲載する。</li><li>・スカイプを使った中継連絡サービスの試行を継続し、有効性が確認できれば、県と本格実施に向けた協議を行う。</li><li>・引き続きシネマ・デイジー製作の可能性を検討する。</li><li>・SNS など新たな情報発信の手段を検討する。</li></ul>
評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・管内各市町の身体障害者手帳交付窓口にセンターの利用案内（墨字、点字、録音）、パンフレット等を配布し、手帳交付時等にセンターを紹介するとともに、障がいに応じた適切な利用案内等を渡してもらうよう依頼した。</li><li>・県の広報媒体によるセンター業務内容の周知を依頼し、県広報紙「フォトしまね」203号（平成 28 年 7 月号）「しまねっ子ニュース」で紹介された。</li><li>・管内各市町の広報紙及びホームページにセンターの紹介記事を掲載するよう依頼し、5 市町の広報紙、3 市町のホームページに掲載された。</li><li>・国や県の機関、公共施設、病院、金融機関、福祉施設及び商店等 113 事業所を訪問し、センター広報チラシを配布した。</li><li>・上記のうち 100 事業所に従業員へのチラシ回覧を、103 事業所に来客へのチラシ配布を依頼した。</li></ul>

- ・「琵琶の夕べ」、「手話まつり」、「浜田市健康福祉フェスティバル」等センターが主催又は参加した7つのイベントで参加者639人にセンターの広報チラシを配布した。
- ・平成29年3月31日現在の管内の個人利用登録者数は、視覚障がい者298人（年度当初比3人増）、聴覚障がい者66人（年度当初比1人増）となった。
- ・管内個人利用登録者数の視聴覚障がい者数に占める割合は、視覚障がい者32%、聴覚障がい者4%である。
- ・センターのホームページのニュースリリースを中心に施設情報を月平均4回発信した。
- ・新たな手話動画「避難行動要支援者名簿の活用」を制作し、10月にホームページに掲載した。
- ・手話使用者2名の協力を得てスカイプを使った中継連絡サービスの試行を継続実施し、有効性が確認されたことから、県と協議し、平成29年度から本格実施することとなった。
- ・シネマ・デージー製作の可能性を検討した結果、ボランティアの養成や今後の事業費確保に課題があることから、当面は事業化しないこととした。
- ・新たな情報発信の手段として、12月にセンターのフェイスブックページを開設した。

## 『関係機関・団体との連携』

実行計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月上旬に事業推進会議を開催し、障害者差別解消法（平成28年4月1日施行）への対応等を議題として意見交換等を行う。</li> <li>・9～11月に各市町を訪問し、事業推進会議で取り上げられた課題のフォローアップ、平成29年度における新たな取組等について意見交換を行う。</li> <li>・必要に応じて浜田ろう学校、全視情協島根あさひ事業所、各市町社会福祉協議会等を訪問し、意見交換を行う。</li> </ul>
評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月29日に県障がい福祉課、管内7市町、視聴覚障がい者団体、ボランティア団体及び意思疎通支援者団体の参加を得て事業推進会議を開催し、当センターの課題や取組を説明して意見聴取と協力依頼を行うとともに、国の障がい者施策の動向、各市町の障がい者日常生活用具給付制度等について情報交換を行った。</li> <li>・11月に管内各市町を訪問し、障がい者差別解消条例制定の動きの有無、障がい者日常生活用具給付制度の改正予定等について意見交換を行った。</li> <li>・全視情協島根あさひ事業所を訪問するとともに、浜田視覚障害者福祉協会及び江津市視覚障害者協会の会議に参加し、意見交換を行った。また、浜田ろう学校を訪問し、意見交換を行うとともに、聴覚障害者情報センターの運営会議及びビデオ情報化検討委員会に参加し、事業の状況や聴覚障がい者を巡る課題等について情報を共有した。</li> </ul>

## 『各種ボランティアの養成・確保』

実行計画
------

- ・県の広報媒体を使って各種ボランティア募集の周知を図るよう依頼する。
- ・各市町の広報紙及びホームページにボランティア募集記事を掲載するよう依頼する。
- ・退職予定の教職員、公務員へボランティア募集チラシを配布するよう依頼する。
- ・国や県の機関、民間団体、企業等を訪問し、ボランティア募集チラシの従業員回覧や来訪者配布を依頼する。
- ・養成講習修了者を対象としたスキルアップ講習会を定期的開催する。
- ・ボランティアグループの自主的勉強会に職員を派遣し、スキルアップを支援する。
- ・センター独自の指導者認定制度の創設を引き続き検討する。

#### 評価

- ・県の広報媒体を使って各種ボランティア募集の周知を図るよう依頼したが、実現しなかった。
- ・管内各市町のホームページに各種ボランティア募集の記事を掲載するよう依頼し、浜田市のホームページに掲載された。
- ・点訳・朗読奉仕員養成講習会については、浜田市、益田市、大田市、江津市、邑南町の各広報紙に、テキストデータ編集ボランティア養成講習会については、江津市、浜田市社会福祉協議会の各広報紙に、デジター編集ボランティア養成講習会については、浜田市、江津市の各広報紙に、それぞれ受講者募集の記事が掲載された。
- ・平成 29 年 3 月退職予定の公務員（教職員、県職員、浜田・益田・江津市職員）へボランティア募集チラシの配布を依頼した。
- ・ボランティア募集チラシ（センター広報チラシの裏面）を 113 事業所に配布し、そのうち 100 事業所に従業員へのチラシ回覧を、103 事業所に来客へのチラシ配布を依頼するとともに、センターが主催又は参加した 7 つのイベントで参加者 639 人にチラシを配布した。
- ・点訳ボランティアのスキルアップ講習を毎偶数月に実施した。
- ・朗読ボランティアのスキルアップ講習を 3 月に実施した。
- ・3 つの点訳ボランティアグループの自主的な勉強会へ職員を派遣した。（2 グループは毎月 1 回、1 グループは毎奇数月 1 回）
- ・2 つの朗読ボランティアグループの自主的な勉強会へ職員を派遣した。（毎月 1 回）
- ・センター独自の指導者認定制度については、各市町における独自の点訳・朗読奉仕員養成の動きを見られないことから、創設を見合わせることにした。

### 『意思疎通支援者等の養成・確保』

#### 実行計画

- ・社会福祉協議会等が行う同行援護従事者及びガイドヘルパーの養成研修に職員を講師として派遣する。
- ・各地域で活動する点訳・音訳奉仕員の養成・確保について、各市町、ボランティア団体等と今後の対応を協議する。
- ・市町が実施する手話奉仕員養成講習に対して人的な支援（講師派遣、相談等）を行う。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話通訳者及び要約筆記者の養成講習について、西部地域の実情に配慮して実施するよう県、聴覚障害者情報センター等に働き掛ける。</li> </ul>
<b>評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の同行援護従事者養成研修に歩行訓練士の資格を有する職員を講師として派遣した。</li> <li>・6月29日に開催した事業推進会議及び各市町個別訪問において、平成28年4月の障害者差別解消法の施行を踏まえ、各市町でも独自に点訳・音訳奉仕員の養成に取り組むよう要請した。</li> <li>・江津市手話奉仕員養成講習及び浜田市手話奉仕員登録者学習会に手話通訳士の資格を有する職員を講師として派遣した。</li> <li>・西部地域に配慮して手話通訳者及び要約筆記者の養成講習を行うよう働き掛け、平成29・30年度は、手話通訳者養成講習会が大田市で、要約筆記者養成講習会が浜田市で開催されることになった。</li> </ul>

### 『職員の専門的能力の育成』

<b>実行計画</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得が次第に難しくなっている点字指導員について、引き続きOJTを実施し、指導員資格認定講習の受講を目指す。</li> <li>・全国視覚障害者情報提供施設協会、中国四国点字図書館連絡協議会等が主催する研修会に職員を派遣する。</li> <li>・年間6回の所内研修を行い、視聴覚障がい者を取り巻く社会状況、社会福祉制度、日常生活用具等について理解を深める。</li> </ul>
<b>評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・点字指導員の資格取得に向け職員1名を対象として引き続きOJTを実施し、同職員が事前の課題審査に合格して点字指導員資格認定講習会に参加した。</li> <li>・関係機関・団体が主催する6つの研修等へ職員を派遣した。</li> <li>・年間6回の所内研修を計画し、5回実施した。</li> </ul>

### 『視覚障がい者のICT活用の支援』

<b>実行計画</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な視覚障がい者ICT活用技術を習得し、支援能力を高めるための独自の職員研修を実施する。</li> <li>・視覚障がい者ICT活用支援に特化したパソコンボランティア養成講習会を開催する。</li> <li>・様々な機会を通して視覚障がいの利用者に情報機器の利用を呼び掛け、そのための講習会を開催する。</li> <li>・情報機器が使用できない利用者に対して、センターがリクエストに応じて「サピエ」等から情報をダウンロードして提供する。</li> </ul>

評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視覚障がい者の ICT 活用技術に特化したパソコンボランティア養成事業として「視覚障がい者情報機器活用支援ボランティア養成講習会」を開催した。(11月11日～12月16日 全5回、ライトハウスライブラリー)</li> <li>・ 上記の視覚障がい者情報機器活用支援ボランティア養成講習会に職員2名が参加した。</li> <li>・ 視覚障がい者団体の会議で視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の利便性等を紹介し、利用者へ情報機器の利用を呼び掛けた。また、利用者からの求めに応じてパソコンボランティアを13回派遣し、講習を行った。</li> <li>・ 情報機器が使用できない利用者に対しては、リクエストに応じて「サピエ」から点字データ、デイジーデータをダウンロードし、それぞれ点字図書、録音図書にして貸し出した。</li> </ul>

### 『機器情報の提供』

実行計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者向け新聞・雑誌、インターネット、メーカー等から最新の機器情報を収集し、利用者に提供する。</li> <li>・ 管内3箇所で開催相談会を開催し、展示用補装具・日常生活用具やメーカー出展の最新機器等により来場者への紹介、試用等を行う。</li> <li>・ 予算の許す限り展示用補装具・日常生活用具等の更新を行う</li> </ul>
評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネット、メーカーへの照会等により最新の機器情報を調査・収集し、相談のあった利用者等へ提供した。</li> <li>・ 年間3回の機器展示相談会の開催を予定し、開催希望が多かったため7回開催した。</li> <li>・ 視覚障がい者用5点、聴覚障がい者用5点の最新の機器・用具を購入した。</li> </ul>

### 『地域貢献活動等の実施』

実行計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校や団体の福祉学習を積極的に引き受けるとともに、浜田市健康福祉フェスティバルに参加し、児童生徒や住民の視聴覚障がいへの理解を促進する。</li> <li>・ 希望する官公庁や公共施設等へ出向き、窓口職員を対象として「窓口での聞こえにくい・聞こえない人とのコミュニケーション講座」を実施する。</li> <li>・ 平成28年度版「障害年金ガイド」の点字版及び音声版を製作し、日本年金機構に提供する</li> <li>・ 地域住民を対象として、視覚障がい又は聴覚障がいに対する理解を深めるための講演会を開催する。</li> </ul>
評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年度5件の地域貢献活動の実施を予定し、4件実施した。実施したすべての地域貢献活動においてボランティア、視聴覚障がい者、関係団体等の協力を得た。</li> </ul>

- ・福祉学習 3 件（県立邇摩高校、浜田市立雲雀丘小学校、寺族婦人会）、施設見学等 3 件（全視情協島根あさひ事業所、ライトハウスライブラリー、浜田市社会福祉協議会）を引き受けた。また、10 月 16 日に開催された浜田市健康福祉フェスティバルに参加し、来場者 111 名に点字と手話の体験の機会を提供した。
- ・1 事業所において「視覚障がい者対応研修」の実施を予定していたが、会場の確保ができなくなり、平成 29 年度に実施することとなった。
- ・「窓口での聞こえにくい・聞こえない人とのコミュニケーション講座」の実施については、1 事業所において 2 回実施した。
- ・「障害年金ガイド」の点字版及び音声版は、平成 28 年度より日本年金機構が出版業者に発注して製作することとなった。
- ・しまね文化振興財団との共催で 9 月 16 日にいわみーるにおいて中秋の名月企画「琵琶の夕べ」を開催し、琵琶奏者・久保田晶子氏に琵琶の演奏を行っていただくとともに、琵琶の歴史等について語っていただいた。地域住民 134 名の参加があった。
- ・島根県ろうあ連盟との共催でいわみーるにおいて第 9 回手話まつりを開催し、10 月 1 日に聴覚に障がいのある女優・貴田みどり氏に講演とワークショップを行っていただいた。講演には地域住民 95 名の、ワークショップには手話学習者 22 名の参加があった。

### 『島根あさひ社会復帰促進センターの活用』

実行計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から始めたテキストデータ（テキストデジタイズ図書の半製品）の製作依頼を拡大する。</li> <li>・新たな作業の導入の可能性について「あさひ」と協議する。</li> </ul>
評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・42 タイトルの図書のテキストデータ化を依頼した。</li> <li>・図書のテキストデータ化について、指導員のデータ確認のため受入数に限界があることから、指導員の確認が要らない作業の導入の可能性について協議した。</li> </ul>

#### 4 事業の内容

##### (1) 点字図書館利用状況

ア 新規利用登録者数 15名/団体(個人10 団体5) 利用登録者数 855名/団体(西部地域個人 298名)

イ 図書整備状況 (タイトル)

点字図書			録音図書						テキストデジタイズ図書	
			カセット			CD				
製作	受入れ	蔵書	製作	受入れ	蔵書	製作	受入れ	蔵書	製作	蔵書
121	28	6,208	137	5	4,012	139	121	6,299	35	69

ウ 図書貸出し状況 (タイトル)

点字図書			録音図書					テキストデジタイズ図書	
			カセット		CD				
自館図書	他館図書	ダウンロード	自館図書	他館図書	自館図書	他館図書	ダウンロード	自館図書	ダウンロード
389	342	11,412	1,609	16	12,641	4,435	57,706	0	3,124

エ 録音雑誌製作・貸出し状況 (タイトル)

製作		貸出し				
		カセット		CD		ダウンロード
カセット	CD	自館製作	他館製作	自館製作	他館製作	
49	50	433	143	1,910	2,184	8,762

オ 利用者とボランティアのつどい(参加者数)

利用者	ボランティア	その他	計
28	29	16	73

※3月5日開催

カ プライベートサービス(個人の依頼による情報提供サービス)

	点字	録音	代読	代筆	拡大	その他	計
延利用者数	6	10	24	90	0	140	270

キ 点字サービス

	市町依頼	団体依頼
回数	0	10
延部数	0	58

ク 録音サービス

	団体依頼
回数	29
延巻数	406

ケ あさひ職業訓練事業

	回数
点訳指導	2
音訳指導	8

##### (2) 聴覚障害者情報ライブラリー利用状況

ア 新規利用登録者数 5名/団体(個人5 団体0) 利用登録者数 437名/団体(西部地域個人 66名)

イ ビデオ整備・貸出し状況(タイトル)

所蔵	貸出し
2,124 (DVD 441、ビデオ 1,683)	158 (DVD 157、ビデオ 1)

ウ 中継連絡サービス

回数 3回

エ 利用者来館

来館者数 22名

オ セミナー&交流会

参加者数 22名(利用者 6名 その他 16名) ※8月21日開催

カ 手話通訳

件数 5件

キ 手話奉仕員養成協力

件数及び回数 2件 6回

##### (3) 地域生活支援事業

ア 点訳・朗読奉仕員養成事業

	会場数	回数	参加者数	修了者数
点訳奉仕員養成講習	2	40	延151	6
朗読奉仕員養成講習	2	42	延75	4
広報音訳奉仕員養成講習	—	—	—	—

イ 点訳・朗読奉仕員技術講習会

	回数	参加者数
点訳技術講習	24	延239
朗読技術講習	16	延163

ウ 中途失明者生活訓練等事業

		大田市	邑智郡	江津市	浜田市	益田市	鹿足郡	計
歩行訓練	回数	5	0	0	33	7	0	45
	実人員	4	0	0	5	5	0	14
コミュニケーション・日常訓練	回数	7	0	1	17	11	7	43
	実人員	2	0	1	7	6	3	19



エ 障がい者情報化コミュニケーション支援事業

	回数	延日数	延人員	実人員
講習会	—	—	—	—
個別講習	18	18	18	2
機器展示	6	7	1,318	1,318

オ 障がい者パソコンボランティア養成事業（視覚障がい課程）

回数	延べ日数	参加者数	修了者数	新規登録者数
1	5	延19	4	1

※登録者数 一般課程 139名  
視覚障がい課程 4名

(4) 市からの受託事業

ア 点字・録音広報発行

	浜田市		益田市		江津市	
	回数	延冊・巻数	回数	延冊・巻数	回数	延冊・巻数
点字広報	2	11	12	192	16	106
録音広報	18	418	18	324	16	173

イ 大田市障害者生活支援事業

	歩行訓練	点字訓練	パソコン訓練	計
回数	2	12	10	24
実人員	2	3	2	7
延人員	2	34	10	46

ウ 浜田市障害者生活支援事業(料理教室)

	回数	実人員	延人員
視覚障がい	23	3	31
肢体不自由		11	90
聴覚障がい		3	35

ボランティア 実人員3名 延人員32名

エ 益田視覚障害者生活支援事業

	歩行訓練	コミュニケーション訓練	日常生活訓練	計
回数	0	16	8	24
実人員	0	3	3	6
延人員	0	33	17	50

(5) その他の事業

ア 福祉学習

	施設内(来館)	施設外(派遣)	計
件数及び対象者数	3	82	0
			0
			3
			82

※その他 施設見学等 3件 36名

イ 相談事業

	視覚	聴覚	計
福祉機器	20	10	30
日常生活	6	1	7
進路相談	0	0	0
その他	5	0	5
計	31	11	42

ウ 機器貸出し状況

	視覚	聴覚	その他	計
補装具	0	0	0	0
日常生活用具	9	4	0	13
その他	3	9	12	24
計	12	13	12	

エ 広報紙「かわらばん」発行

回数	点字版	録音版	ルビ版	計
4	51	523	1,982	2,556

オ 奉仕員登録者数

点訳奉仕員	朗読奉仕員	デイジー編集ボランティア	テキストデータ編集ボランティア	計
308	310	28	12	658

カ デイジー編集ボランティア養成

	回数	延日数	延人員	修了者数
養成講習	1	4	18	4

キ テキストデータ編集ボランティア養成

	回数	延日数	延人員	修了者数
養成講習	1	4	16	4

ク 行事、会議等

名称	開催日	参加数	備考
事業推進会議	6月29日	21機関・団体	

ケ 地域（社会）貢献活動

活動名	実施日	参加者数又は製作数	備考
窓口での聞こえにくい・聞こえない人とのコミュニケーション講座	8月19・30日	15名	1事業所 2回
中秋の名月企画「琵琶の夕べ」	9月16日	134名	地域住民参加者数
手話まつり講演&ワークショップ	10月1日	117名	//
浜田市健康福祉フェスティバル参加	10月16日	111名	点字・手話体験等
封筒の点字印字	通年	118,200枚	105機関・団体の封筒

5 施設職員の状況

	施設長	事務職員	その他	計
正規職員	1	4	0	5
準職員	—	2	0	2
非常勤職員	—	0	0	0
計	1	6	0	7

6 施設における職員研修の開催状況

(1) 施設内研修

研修内容	期日	参加者数	研修内容	期日	参加者数
重点活動方針及びセンター事業計画	4月19日	6	聴覚障がいについて	1月13日	7
視覚障がい者手引き歩行訓練	9月20日	6	スカイプのビデオ通話とチャット送信	2月24日	7
障がい者の人権	11月8日	7			

(2) 派遣研修

研修会名	開催日	場所	参加者数
中国四国点字図書館館長会議、職員・ボランティア研修会	7月21日・22日	福山市	2
点字指導員資格認定講習会	8月23～25日	岐阜市	1
盲ろう者通訳・介助員派遣事業コーディネーター制度に関する説明会	9月9日	浜田市	2
全国視覚障害者情報提供施設大会	10月20日・21日	熊本市	2
音訳指導技術講習会	11月9日・11日	東京	1
視覚障がい者情報機器活用支援ボランティア養成講習会	11月11日～12月16日	松江市	2
テキストデイジー担当者研修会	3月17日	大阪市	2

※ 本部研修及び交流体験研修を除く。